

ここに宝あり!

新潟工科大学・産学交流会（大学開放）

平成19年11月2日（金）に、本学の地域産学交流センター主催の大学開放を行いました。この開放は、日ごろより絶大なるご支援をいただいている、産学交流会企業および地元企業の皆様に、本学のすべての研究室を知っていただきたいとの強い思いで実施しました。参加企業・団体として、52社、72名のご参加をいただきました。

満員の席上、本学小野塚副学長による開会挨拶が行われ、引き続き、基調講演では、長岡技術科学大学・教授・下村雅人先生より、「バイオセンシングテクノロジーにおける最近の進歩」と題するご講演をいただきました。この講演では、生物関連物質を工業的に活用するアイデアが紹介されました。具体的には、共有結合による生物関連物質の固定化技術が、バイオセンサ、DNAセンサ、バイオ燃料電池などの新しい工業的価値を創造することが示されました。

休憩を挟み、後半の全体説明として、TV紹介、共同研究事例・手続きの紹介、各学科の紹介に引き続いて、メインである研究室見学を行いました。開放した研究室は、当日出張により開放できなかった研究室を除いた、全27研究室でした。今回の開放は、9月に実施された、地元企業見学会（3日間で19社）に対する、大学側からのシーズ提供の意味もあり、各研究室それぞれ熱のこもった説明やデモンストレーションがありました。その後、大学開放は、各学科の就職指導委員による就職相談会により締めくくられました。

地域産学交流センターでは、今後も大学発の情報発信に力を入れて、産業界との連携強化を進めていきます。



基調講演 下村教授



研究室見学の様子



研究室見学の様子



就職相談会の様子